

1. 科目名 (単位数)	教師論 (初等) (2 単位)	3. 科目番号	EDTE1102
2. 授業担当教員	石崎 達也		
4. 授業形態	講義、事例研究 (グループワーク)、演習 (論作文)、発表	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	今日の学校教育が抱える様々な課題を解決する上で、その主たる担い手である教員の役割や責任は極めて大きい。これからの教員は、教科・科目に関する知識を教授するだけでなく、広い視野に立ち、思いやりのある人間性豊かな子どもたちを育成することが求められている。現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 我が国における今日の学校教育や教職の社会的意義を理解し、説明が出来るようになる。 教育の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割や資質能力を理解し、態度化できる。 教員の職務内容の全体像や教員に課せられる服務上・身分上の義務を理解し、説明できる。 		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> ワークシートを提出する。 テーマごとに小レポートを作成する。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 佐久間亜紀・佐伯胖編著『現代の教師論』ミネルヴァ書房、2019。</p> <p>【参考書】 佐藤晴雄著『教職概論-教職を目指す人のために- (第4次改訂版)』学陽書房、2015。 東京福祉大学編『教職科目要説』ミネルヴァ書房。</p> <p>【教材】 必要に応じて授業内でプリントを配布する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 教職の意義や教員の役割・職務内容に関心を持ち、教員に求められる資質・能力、教育を支える法律上の規定などを理解し、説明ができる。</p> <p>○評定の方法 ・学習記録・演習課題60%、レポート20%、受講態度20%とする。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>社会の変化とともに、「教師」に対する親や社会の期待はますます高まっている。そこで、教育現場における「教師」にとって、さまざまなニーズに対応するための「問題解決能力」「コミュニケーション能力」の向上が課題となっている。受講生の皆さんには、この授業の中では失敗や間違いを恐れず積極的に発言・発表すること、また同じ目標をもった受講生同士が協力して課題に取り組み、学び合うことを期待している。</p> <p>【学生に期待される学習態度】 受講生の皆さんは、上記のような目的を達成するために下記の内容に留意してほしい。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教師と受講生、受講生同士のコミュニケーションが学びの質を高める。グループワークには積極的に取り組み、課題意識をもって臨んでほしい。 ② 授業に臨むにあたって無断欠席、遅刻、早退、無断退出をしないこと。(欠席、遅刻、早退をした場合は、その理由を必ず教員に書面にて報告すること。正当な理由であっても、必要な時間数に不足する場合は不合格とする。) ③ 明らかに授業態度が悪いと判断した際は、厳格な指導を行う。指導後も授業態度の改善が見られないと判断した場合、試験の答案内容如何にかかわらず、不合格とする。 ④ 授業中、私語、居眠りはしないこと。 ⑤ 授業中、使用の指示がない場合は、スマートフォン等の電子機器端末は電源を切っておくこと。 <p>【教員の心がまえ】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 授業の目的・目標を明確に示し、授業の進行はできるかぎりシラバスに沿って行う。 ② 受講生全員に伝わるような声で話をする。また専門用語を用いた際は、わかりやすく説明する。 ③ 一方通行の講義だけを行うのではなく、グループワークやディスカッションなどを取り入れながら受講生全員が意見を出しあえるような双方向対話型の学習環境をつくる。 <p>遅刻・早退・授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用、無断退出、その他、授業に臨むうえで不適切と思われる態度が見受けられた場合は、厳格に対処する。</p>		
13. オフィスアワー	講義の中で通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (シラバス内容の確認) 【序章 教師を目指す】	事前学習	教職を目指したきっかけや理由、あなたの心に残っている教師について整理しておく。
		事後学習	「あなたの考えるよい教師とは？」に関するレポートを作成すること
第2回	教職の魅力 (1) 【第1章 初等教育の教師】	事前学習	教科書 pp.17~33 を読み、「初等教育の教師の仕事」について自分の意見をまとめてくること。
		事後学習	「初等教育の教師の魅力」に関するレポートを作成すること。
第3回	教師の魅力 (2) 【第2章 中等教育の教師】	事前学習	教科書 pp.35~51 を読み、「中等教育の教師の仕事」について自分の意見をまとめてくること。
		事後学習	「中等教育の教師の魅力」に関するレポートを作成すること。
第4回	教職の特徴 (1) 【第3章 日本の教職の特徴】	事前学習	教科書 pp.55~70 を読み、「日本の教職の特徴」について調べ学習をしてくること。
		事後学習	グループごとに教職の国際比較データを収集すること。

第5回	教職の特徴(2) 【ピア・ティーチングに挑戦】	事前学習	各グループでピアティーチングの準備をしてくること。
		事後学習	ピア・ティーチングをふまえ、「教職の特徴」に関するレポートを作成すること。
第6回	教職の特徴(3) 【第4章 教師像の史的展開】	事前学習	教科書 pp.71~87 を読み、「求められる教師観の変化」について自分の意見をまとめてくること。
		事後学習	「自分は教師として社会のなかでどのような役割を担いたいのか」についてレポートを作成すること。
第7回	教職の特徴(4) 【第5章 教員の服務】	事前学習	教科書 pp.89~105 を読み、「教員の服務」について調べ学習をしてくること。
		事後学習	「体罰に関する事例」についてレポートを作成すること。
第8回	教職の特徴(5) 【第6章 教員の権利と身分保障】	事前学習	教科書 pp.108~122 を読み、「教員の権利と身分保障」について調べ学習をしてくること。
		事後学習	グループワークをふまえ、「あなたの考える教師像は？」に関するレポートを作成すること。
第9回	教職の特徴(6) 【第7章 学び続ける教師】 【第8章 学校を構成する様々な専門職】	事前学習	教科書 pp.124~159 を読み、「学び続ける教師」「チーム学校」に関する調べ学習をしてくること。
		事後学習	「教育実践記録」を読み、あなたが学んだことについてレポートを作成すること。
第10回	専門職としての教職(1) 【第9章 専門家としての教師】	事前学習	教科書 pp.164~180 を読み、「リフレクション論」に関する調べ学習をしてくること。
		事後学習	「学びの場を生み出す教師」に関するレポートを作成すること。
第11回	専門職としての教職(2) 【第10章 子どもが(いのち)に見える教師】	事前学習	教科書 pp.185~200 を読み、「教師に求められる資質・能力」について自分の意見をまとめてくること。
		事後学習	教師の〈子ども観〉〈いのち〉観に関する自らの考えをまとめたレポートを作成すること。
第12回	専門職としての教職(3) 【第11章 いじめに向き合う】	事前学習	教科書 pp.201~219 を読み、「教師に求められる資質・能力」について自分の意見をまとめてくること。
		事後学習	教師として「いじめ」に向き合う上で大切なポイントについてまとめたレポートを作成すること。
第13回	専門職としての教職(4) 【第12章 性の多様性をめぐる学校・教師の課題】	事前学習	教科書 pp.220~237 を読み、「性の多様性」について自分の意見をまとめてくること。
		事後学習	教師として「性の多様性」に向き合う上で大切なポイントについてまとめたレポートを作成すること。
第14回	専門職としての教職(5) 【終章 「教える」ということの意味】	事前学習	教科書 pp.241~262 を読み、「資質・能力」「コンピテンシー」という言葉に関する調べ学習をしてくること。
		事後学習	「教える」ということの意味について自らの考えをまとめたレポートを作成すること。
第15回	ふりかえり 【これまでの学習を振り返り今後の進路選択にあたり大学生活をどのように送っていくのかについて話し合い・発表する】	事前学習	「教師を目指す」等、自分の進路について考えを深めておくこと。
		事後学習	授業全体をふり返り、教師に求められる資質能力を高めるために自分に必要なことは何かを考え、レポートをまとめる。